ALL for ONE

Communication Magazine　Vol.20

真の欲求を究めて、
ホンモノをカタチにする

OHAYO × OHAYO
BioTechnologies

ホンモノは、おいしい。
ホンモノのヘルスケアの
在るべき姿を切り拓く。

ロイテリプロジェクト

食からヘルスケアを考えるのは
欧米ではもう当たり前。
それを実現するためのスタートとして、
圧倒的エビデンスのあるロイテリ菌を以って
国民の生活と健康を支えること、
それがロイテリプロジェクトの使命です。

ツェットマン教授講演会開催
学術的にロイテリ菌の有用性伝える

オハヨー乳業とオハヨーバイオテクノロジーズは1月29日、ステーションコンファレンス東京にて医療セミナーを開催しました。新商品「ロイテリ お口のサプリメント」の全国発売を控え、お口の健康の重要性、ならびにロイテリ菌の有用性を広く知ってもらう目的で企画。歯周病と重大疾患（肺炎、心筋梗塞、早期低体重児出産等）の関係性、また近年注目されている「バクテリアセラピー」の考え方や実例について、世界的に活躍しているコペンハーゲン大学のスヴァンテ・ツェットマン教授に講演いただく機会に恵まれ、開催に至りました。

第一部はメディア向け、第二部は流通関係者・医療関係者・一般のお客様向けに講演が行われ、約110名が参加。冒頭ではオハヨーバイオテクノロジーズの木下専務が登壇し、「オハヨー乳業は新鮮で安全な素材と丁寧な製法にこだわってきた会社」と説明。「医と食のバランスを変える」という当グループのビジョン、そして政府の重点施策

である「健康日本21」にも貢献しうるロイテリ菌の可能性に言及した後、新商品「ロイテリ お口のサプリメント」を紹介しました。

その後、ツェットマン教授が登壇し、「バクテリアセラピーによる健康寿命への貢献」をテーマに講演。「バクテリア（細菌）は人間の健康管理において非常に重要な役割を果たしている」と解説し、体内の細菌の集合体（バイオフィルム）においては、多様性とバランスが重要であると説明しました。一方、ストレスなどによりバイオフィルムの安定性が崩れると重大疾患を引き起こすことも補足。口腔内の健康が全身の健康に強く関連しているため、善玉菌を摂取することで口腔内を健康に保つことが重要と強調し、「数ある善玉菌のなかでもロイテリ菌は優れた効果を持っている」と結論付けました。一般のお客様からは「『菌活』という言葉は聞いたことがあったが、バクテリアセラピーについて詳しく理解していなかったので勉強になった」「ロイテリ菌を継続して補給して、健康な身体づくりをしたい」「ロイテリヨーグルトが好きでよく食べていたが、ロイテリ菌について学術的に知れてよかった。恐ろしい病気とお口の健康の関係性には驚いた」など反応もよく、また流通関係者からは「タブレットで生きた乳酸菌を摂取できるのは手軽でいいし、商品としても扱いやすい。全国でロイテリ菌が手に入るようになることが楽しみ」など嬉しい声をいただきました。

また、3月16～18日に行われた「第18回 Japan ドラッグストアショー」において、ロイテリヨーグルトが「パイオニア賞」を受賞しました。これは、今年初開催となる機能性表示食品を対象としたアワード「キノウ食アワード2018」での表彰です。日本初となる「口腔領域」の機能性表示食品として、新たな市場を切り拓いた点が評価されました。ロイテリ菌プロジェクトは今後もロイテリ菌自体の魅力を広くPRすることで、より多くの方々にロイテリ菌を認知、そして摂取していただき、国民の生活と健康を支えていきます。

OHAYO BioTechnologies

スウェーデンのカロリンスカ医科大学で研究され、
世界で使用されている乳酸菌
ロイテリ菌

健康な人でも、体内におよそ2kgいるバクテリアのすべてをコントロールすることは不可能です。
だから、ロイテリ菌でバクテリアセラピーを始めましょう。
カロリンスカ医科大学はノーベル生理学、医学賞の審査機関です。

ロイテリ菌研究所 検索
http://ohayo-bio-reuteri.com

オハヨーバイオテクノロジーズは、
ロイテリ菌でバクテリアセラピーを啓蒙してきます。

これが事実

歯周病 口腔炎症
歯周病症状の箇所が 47%減少

免疫 アレルギー
アトピー性皮膚炎の湿疹面積が 57%減少

ピロリ菌
胃酸抑制剤との併用でピロリ菌の除菌に成功

オハヨーバイオテクノロジーズ株式会社 ロイテリ菌研究所

発売直後から想定を大幅に上回る受注
ロイテリ菌の認知拡大で、さらなるブランド構築へ

(文:オハヨーバイオテクノロジーズ株式会社 坂本亜紀子)

オハヨーバイオテクノロジーズ
坂本　亜紀子

2月5日に「ロイテリ お口のサプリメント」がECサイトより販売をスタートしました。発売直後に、ロイテリ菌が複数のTV番組で取り上げられたことで、爆発的な反響があり、1日で1,000件近い注文が入った日も。想定以上の受注により、オペレーション上の問題が生じましたが、各部署の方々が忙しい業務の合間を縫って快く力を貸してくれ、機会損失を最小限に抑えられたことに、本当に感謝しています。また、ロイテリ菌の認知を拡大すれば、売り上げに直結することも実感できたので、今後もロイテリ菌の認知拡大に努めたいです。現在、Web施策で40代以上の女性に訴求をしていくとともに、老人ホームや母子衛生研究会など、重点ターゲットとなるコミュニティに直接アプローチし、サンプリングや講演会を行うなど、草の根活動を実施しています。高齢者の方々や妊婦さんから非常に良い反応をいただいており、アンケートの結果を今後の販促施策に生かしていく予定です。

また並行して、ECサイトでのリピート施策や店頭販売への仕掛けにも着手しています。店頭販売については、営業の髙橋脩さんがドラッグストアやGMSを中心に商談を進めており、全国展開の店舗に並ぶ日も近いです！先日、アルフレッサヘルスケア社の展示会へ出展した際にも、来場されたバイヤーの方々から多数お問い合わせをいただき、非常に手応えを感じています。

ロイテリ菌はお子様からご高齢の方まで、人が健康であるために欠かせない働きをする菌であることを確信しています。大切な人の健康を想ってお勧めしたり、贈っていただけるような商品となるよう、さらなるブランド向上を図っていきたいと思います。

ロイテリ授業で子どもたちに新しい発見と笑顔を！！

(文:オハヨー乳業株式会社 営業推進部 営業サポート課 平井真生)

オハヨー乳業
営業推進部 営業サポート課
平井　真生

オハヨー乳業は、1月31日に三鷹市立第二小学校で「小学生に知ってほしい歯のおはなし」と題する出張授業を行いました。

「歯磨き、検診、ロイテリ菌！！」を合言葉に社員自らが講師となり、歯の雑学から虫歯菌について、そして歯周病菌とロイテリ菌の関係についてクイズを交えながら紹介。内容をまとめたテキストの配布や、ロイテリヨーグルトをご家庭に持って帰ってもらい、児童だけでなく、そのご家族に対してもロイテリ菌の認知、効能理解を促していく戦略です。

授業中の反応や、授業後に書いてもらった感想文から、想像以上に口腔ケアに対する興味やロイテリ菌への関心を持ってもらうことができたと実感しています。今後も複数の小学校での実施が決定しており、引き続き、より多くの子どもたちにロイテリ菌を知ってもらう活動を行っていきたいと考えています。

TOPICS

関西エリアの営業拠点を移転　両社タッグを組んで強いチームに！

（文: オハヨー乳業株式会社 関西支店 支店長 小川秀幸 / カバヤ食品株式会社 大阪支店 支店長 谷川秀樹）

オハヨー乳業
関西支店 支店長
小川　秀幸

カバヤ食品
大阪支店 支店長
谷川　秀樹

オハヨー乳業とカバヤ食品は、関西エリアの営業拠点を東大阪市水走から大阪市中央区南船場に移転し、2月5日から新オフィスでの業務を開始しました。移転先は、日本有数の繁華街である心斎橋から徒歩圏内の場所で、最寄り駅の長堀橋からは徒歩5分という、アクセスに便利な環境です。

新オフィスは、長堀橋の南船場スクエアビル6階にあります。事務所と2つの会議室、倉庫があり、フリーアドレスを採用し、両社の従業員が好きな場所に座ってコミュニケーションを図っています。事務所が移転し、きれいな環境になったことで、仕事に向けての士気がより高まりました。また、オハヨーとカバヤのスタッフが同じフロアの事務所を使用するため、以前より人数が増えて、活気づいています。スタッフは「オハヨー、カバヤの互いの業界や商品、得意先の情報共有がより活発になった」、「この事務所で共有した情報を売り場の提案につなげるなど仕事に生かしていきたい」といった話をしています。

時間に対する感覚や意識も変わってきました。実は、新オフィスになってから、営業車の台数が減りました。これは一見不便に感じられるかもしれませんが、車の台数や利用時間が制限されることで、共有物や時間への意識が高まり、効率よく仕事することにもつながります。また、以前より近い距離になった得意先も増えたので、移動にかかる時間が減り、コミュニケーションが取りやすくなりました。まさに「Communication × Speed ＝ Innovation」を起こせる新オフィスだと思います。

今後は、環境の良さや可能性を最大限に生かして、これまで以上に売り上げを伸ばし、結果を出していきたいと思います。そして、関西エリアから全国へ発信できるものを生み出す強いチームにしていきたいと思います。

TOPICS

「清栄会」発足
より良い関係構築を目指す。会則も一新

（文: リンク＆リンケージ株式会社 取締役副社長 沖山孝雄）

リンク＆リンケージ
取締役副社長
沖山　孝雄

オハヨー乳業、カバヤ食品、リンク&リンケージの3社は取引先業者を集めた親睦会を「清友会」「共栄会」「盛運会」として、それぞれ実施してきましたが、この度3つを統合して「清栄会」を発足しました。これまでは懇親会とゴルフコンペをメインに活動してきましたが、目的や代表者を一新し、会則も改定。「会員相互の親睦を図り、各会員の経営課題や問題を共有し解決策を討議することで、会員が持続的に発展していくこと」を目的と定めました。取引業者同士の交流、情報交換の機会を持つことで、相乗効果を生み、より良い関係を築くべく、活動していく予定です。「清栄会」と名のつく通り、清く繁栄していくよう有意義な活動を計画していきます。

■幹事会社（11社）

・株式会社ランテック
・東罐興業株式会社
・長岡香料株式会社
・株式会社イシダ
・出水運輸センター株式会社
・岡山日山株式会社
・大阪シーリング印刷株式会社
・KISCO株式会社
・四国化工機株式会社
・名糖運輸株式会社
・株式会社ライフサポート・エガワ

■役員

会　長：株式会社ランテック　代表取締役社長　山中 一裕 様
副会長：大阪シーリング印刷株式会社　代表取締役社長　松口 正 様
KISCO株式会社　代表取締役社長　岸本 剛一 様
東罐興業株式会社　代表取締役社長　高碕 精康 様

TOPICS

岡山市景観まちづくり賞を受賞

（文: ライフデザイン・カバヤ株式会社 設計本部部長 伊丹 真一）

ライフデザイン・カバヤ
設計本部部長
伊丹　真一

ライフデザイン・カバヤは、このほど、平成29年度岡山市景観まちづくり賞の建築物部門で入賞しました。

同賞は、岡山市が都市の景観形成や街づくりに寄与した建築物を表彰するもので、市景観審議会がデザインや色彩の景観、緑地や広場の配置などを基準に選定しています。受賞した住宅は、岡山市内に新築した基弘社長の自宅で、タイトルは「街の別荘」。木で作られた高い外周の堀や石積みの外壁など個性的な外観でありながら、玄関周りの植栽計画など周囲の景観に配慮したデザインが評価されました。窪田専務は「住宅メーカーとして街づくりの一端を担えるよう、今後もデザイン力を生かした建築設計に取り組みたい」と話しています。

受賞を励みに、これからも街の景観づくりに貢献できるよう、細部までこだわる設計を追求していきます。

TOPICS

2017年度営業個人目標達成者を表彰

（文: ライフデザイン・カバヤ株式会社　広報課課長　丹原 浩司）

ライフデザイン・カバヤ
広報課課長
丹原　浩司

ライフデザイン・カバヤは、1月5日、岡山市北区のコンベックス岡山で2018年度第一回全体会議を開き、17年度の営業個人目標達成者を表彰しました。

個人賞は、エス・バイ・エル事業部とカバヤホーム事業部で目標達成者上位5人を表彰。また、年間を通じて毎月1棟以上をコンスタントに販売した人には特別賞を贈りました。

エス・バイ・エル部門のトップは岡崎大輔さん。販売棟数17棟で1位を獲得しました。カバヤホーム部門は、販売棟数は16棟で原口健太朗さん。岡崎さんは、「部下を含め、いろんなスタッフの協力のおかげで達成できた。これからもいろんな人とコミュニケーションを図ることで知見を深め、お客様、社員みんなが幸せになれるよう努力したい」と抱負を語りました。原口さんは「これからもお客様目線を徹底することで満足度を高め、日本一の住宅メーカーになれるよう、最大限貢献していきたいです」と話してくれました。

昨年に比べ、上位に店長以外の社員が増えており、課題だった店長に依存する体制から個々のやり方や特性を尊重することで、徐々にですがすべての営業マンが能力を伸ばす組織へ転換しています。これからも着実に人材育成を進めるため、「ALL for ONE」の精神で取り組んでいきます。

山陽新聞岡山展示場店長
岡崎さん

カバヤホーム岡山南店副店長
原口さん

TOPICS

週刊VISION岡山をリニューアル ブランド価値向上目指す

（文: 株式会社瀬戸内海経済レポート　執行役員編集長　大森昭伸）

瀬戸内海経済レポート
執行役員編集長
大森　昭伸

瀬戸内海経済レポートは、発行する経済情報誌「週刊VISION岡山」のデザインをリニューアルしました。

「岡山唯一の経済情報誌」としてブランド価値の向上を図るのが狙いで、昭和39年の創刊後、間もなくから広告を掲載していた表紙をオリジナルデザインに変更。記事で取り上げた人物をはじめ、建物、イベントなどの写真や、岡山の四季の風景などを掲載していく予定で、第一弾の2月12日号は、岡山県と（公財）岡山県産業振興財団が主催し、弊社も「サポーター」として支援にかかわった「ビジネスプランコンテストおかやま2017」の表彰式の一枚を掲載しました。また、ロゴデザインもこれまでの毛筆体からシンプルなアルファベットに変更したほか、記事ページのデザインも、よりスタイリッシュなイメージに一新しました。

読者からは、「すっきりとしたデザインで見やすい」など好評価を得ています。今後も読者の意見を参考にしながらより良い誌面づくりに努め、役に立つ情報発信にまい進していきます。

TOPICS

イオンモール岡山で卒業研究発表会開催

（文: 専門学校岡山情報ビジネス学院　学科長　福家 道代）

岡山情報ビジネス学院
CGデザイン学科/Webデザイン学科 学科長
福家　道代

専門学校岡山情報ビジネス学院は、このほど、イオンモール岡山で卒業研究合同発表会、制作展を開きました。

毎年1月に卒業年次の学生がそれぞれの分野で学んできたことを発表するもので、今年、診療情報管理士学科では、岡山県の地域包括ケアシステムをテーマに地域医療における現状の調査結果を発表。公務員速修学科では「災害とわたしたち」をテーマに、救命講習を受講し、事故や災害にあった時、どう対応すべきなのかを検討し、学生らが考えた災害対策方法を発表しました。また、ゲームプログラマー学科では、バーチャルリアリティー（VR）を使ったゲームなどを展示し、来場した人に体験してもらいました。

在校生も含め多くの人が来場したことでモチベーションも上がり、学生生活の集大成をはつらつと発表していました。この経験を糧にして、来年度から社会人としての活躍を期待したいと思います。

TOPICS

530人が新社会人として一歩踏み出す

（文: 専門学校岡山情報ビジネス学院　事務局長　宮岡 良次）

岡山情報ビジネス学院
事務局長
宮岡　良次

専門学校岡山情報ビジネス学院は、3月6日、2017年度の卒業式を開き、14学科530人が、学校での思い出を胸に学び舎を巣立ちました。

榊原俊章学院長は「本校で学んだことを誇りにし、これからの人生、いろいろなことがあると思いますが、希望を持って突き進んでください」と、はなむけの言葉を贈りました。

また、卒業生を代表してホテル・ブライダル学科の谷本朝子さんが「社会人生活は、理想と違うこともあると思いますが、学校で経験した全てのことを財産にして自分の可能性を信じ、しっかりと歩んでいきます」とあいさつしました。

各担任から想いを込めて贈られた言葉に涙を流した卒業生たち。クラスの友人や後輩、教員との別れも惜しみながら、それぞれの夢に向かって新生活をスタートさせました。

日本カバヤ･オハヨーホールディングス 広報部より

当初よりお伝えしていますが、会社に対して3回以上質問･意見･提案したこと、評価に対して知らされていない、3ヵ月以上返答がない、または納得が出来ていない、現場で抱えている問題…等々、誹謗中傷以外、あなたの発言を尊重して守り、個の利益･利害を阻害することなく、全て受け付けます。
ALL for ONEの精神にのっとり、問題･課題の解決に向けて取り組むことこそが事業にとって、あなたにとっての利益となると考えます。
現場にこそ答えがある。
ご連絡お待ちしております。

連絡先: 日本カバヤ･オハヨーホールディングス　広報部　担当:豊田
Fax: 086-231-4783　　Mail: info@kabaya-ohayo.jp

編集後記

　いよいよ新年度。「ロイテリ　お口のサプリメント」の発売に始まり、心機一転の話題が多い号になりました。各事業、各部署そして個人が着実に準備を進めてきた結果だと思います。この1年、どのような変化があったでしょうか。必ずしも前進ばかりではなかったと思います。重要なことは、方向性を定め、それに向かっているかどうかです。きちんと振り返って反省し、新たな一歩を踏み出せるような新年度にしたいと思います。(豊田)

ONE for ALL

当事者意識を以って、個々の人生設計を中･長期経営計画に映し出し、自らの豊かさと事業の成長･発展を一致させ実行し、達成する。

ALL for ONE

現状から目を背けず、現実を直視し、真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする。
トップからのメッセージを直接伝えると同時に、それぞれの取り組みにフォーカスし、全社一丸となってその一人を支えていく。

投稿･ご意見募集中！

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」などの意見やALL for ONEの感想や疑問点をアンケートに記入して送ってください。
ご意見、ご感想をお待ちしてます。

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ
Corporate Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.20

発行：2018年4月2日　　制作：日本カバヤ・オハヨーホールディングス　広報部
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
TEL：03-3222-7311